

大学評価コンソーシアム主催・国立大学法人神戸大学共催

大学評価担当者集会 2013

(平成 25 年 8 月 22 日－23 日：神戸大学六甲台キャンパス)

主催者挨拶

みなさん、おはようございます。昨日から参加されておられる方は、今日も含めて2日間ということになります。残暑も厳しい中、2日間、知力のみならず体力的にも厳しい状況かもしれませんが、ぜひ活発なご議論をしていただきたいと思います。

今回の大学評価担当者集会におきましては、従来から行っている分科会が3つ。第一分科会では「評価とIR」ということで、とくに活用編ですね。いろいろ改善支援をしていこうというときに様々な障害が出てきます。そういったことを中心に取り上げながら、どのように乗り越えていけばいいのか、という議論を分科会で構想しております。

第二分科会は、これは初心者の方ですね。評価書の作成、また基準をどのように理解しながら、それをどのように評価書の作成に落とししていくのか、ということなど、最低限のリテラシーに関わる部分を扱う分科会となっております。

第三分科会は、指標の策定ということで本来、評価と計画というものは表裏一体の関係にある、という立場から、ちゃんとした評価をするためには計画もしっかり出来ていなければいけない。だとするならば、どのように計画立案を進めていけばいいのか、という観点から、とくに今回は中級編という形になりますが、指標をどのように作っていくのか、というところに焦点を当てた分科会を実施いたします。

第四分科会に関しましては、これは今回新しい試みですけれども、昨日もいろいろと議論されました学生調査、アセスメントという領域ですね。そこをどういう風に変更に移していけばいいのか、というところに主軸を置きながら学生調査の初歩的な話をみなさんとしていきたい、と考えております。

このようにメニューとしては4つの分科会に分かれて、これから午前、午後と1日を使って活発なご議論ができますように、こちらでも支援していきたいと思っておりますので、ぜひともご協力の程よろしくお願いいたします。

大学評価コンソーシアム 代表幹事

九州大学 基幹教育院 准教授

小湊 卓夫